

令和6年度(2024年度) 第4回政策会議の概要

令和6年度(2024年度)第4回政策会議の主な内容は以下のとおりです。

番号	案件名	内 容	議論の要旨及び主な意見	審議結果	部局名
1	豊中市パートナーシップ宣誓証明制度の導入について	市では、令和2年10月から大阪府パートナーシップ宣誓証明制度を活用し、市営住宅の入居資格要件や市職員の特別休暇対象の拡大などを実施してきた。令和5年度には「LGBT理解増進法」が公布・施行されるなど、性的マイノリティを取り巻く環境は変化してきており、当事者が声を上げることのできる雰囲気が醸成されつつある。このような現状を踏まえ、当事者の関係性を認め、家族関係の情報を把握することで、当事者が抱える困難や生きづらさの軽減につなげるとともに、市民・事業者の性の多様性に関する理解増進につなげるために市独自のパートナーシップ宣誓証明制度の導入を提案するもの。	(議論の要旨) ・市独自制度の導入について ・性の多様性に関する理解増進につながる制度設計について (主な意見) ・性的マイノリティ当事者にとって安心安全な住みやすい環境の実現に向けて、詳細な制度設計を進めること ・人権文化のまちづくりを進める観点から、性の多様性に関する理解増進につながるよう取組みを進めること	主な意見を踏まえながら、提案の趣旨に沿って、取組みを進めること。	市民協働部 人権政策課
2	「神崎川駅周辺整備基本計画」の事業化について	令和6年3月策定の「神崎川駅周辺整備基本計画」にもとづき、関係機関等と協議を進めるとともに適切な土地利用の誘導や河川に近い特性を活かした公園整備を検討してきた。その結果、当整備事業の実施が経済波及効果含めて南部地域全体の発展・活性化に寄与すると見込まれるため、豊中市域への神崎川駅改札増設や駅前広場の整備など具体的な事業概要を提案するもの。	(議論の要旨) ・神崎川駅周辺地区整備事業概要について ・神崎川駅周辺地区整備事業実施効果について (主な意見) ・経済効果も踏まえて、南部地域全体の発展・活性化に資する都市機能の導入に向けて、関係機関等と調整しながら、計画的に取組みを進めること	主な意見を踏まえながら、提案の趣旨に沿って、取組みを進めること。	都市計画推進部 都市整備課